

(様式例)

令和5年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・第2学年においては、昨年度の達成率を上回る結果であった。
- ・第1学年においては、目標値を上回る結果であった。

(2) 課題

- ・家庭学習の定着
- ・基礎的な問題の定着率が全国平均と比べて下回る結果であった。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	目標値と比較し、1ポイント上回っている結果であった。		
第2学年	目標値と比較し、0.9ポイント下回っている結果であった。	目標値と比較して、2ポイント下回っている結果であった。(第1学年時)	
第3学年	目標値と比較し、0.5ポイント下回っている結果であった。	目標値と比較し、2ポイント上回っている結果であった。(第2学年時)	目標値と比較し0.4ポイント下回っている結果であった。(第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区平均を上回っているが、目標値・全国平均を下回っている結果であった。	目標値・区平均を上回っているが、全国平均を下回っている結果であった。	目標値・区平均を上回っているが、全国平均を下回っている結果であった。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区平均を上回っているが、目標値・全国平均を下回っている結果であった。	目標値・区平均を上回っているが、全国平均を下回っている結果であった。	目標値・区平均を上回っているが、全国平均を下回っている結果であった。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値・区平均を上回っているが、全国平均を下回っている結果であった。	目標値・区・全国平均を下回っている結果であった。	目標値・区・全国平均を下回っている結果であった。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的・基本的事項について小单元ごとに正確に理解させ小テストを実施する。 ワークを用いた、計算練習を行う。	実験・観察の方法や考察について考える場面等において四人組活動を活用するとともに、聞きあう関係を構築する。	実験・観察・四人組による活動等を充実させるとともに、ワークシート、ICTを効果的に活用する。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的・基本的事項について小单元ごとに正確に理解させ小テストを実施する。	実験・観察の実施、結果の処理、考察の場面等において四人組活動を活用するとともに、ICTを用いた言語活動を充実させる。	ワークシート・教科書の「学びを活かして考えよう」を用い、身近な生活の中でどのように活用されているか意識して学習意欲を高める。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的な内容を定着させるために、小单元ごとに小テストを実施する。	実験・観察の実施、結果の処理、考察の場面等において四人組活動を活用するとともに、ICTを用いた言語活動を活発に行わせる。	第1・第2学年次の学習内容を振り返る学習を行うとともに、ICTや協働学習を有効に取り入れ、主体的に学習に取り組む態度を育む。